

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 24 年 11 月 29 日 (2012.11.29)

【公開番号】特開 2009-292555 (P2009-292555A)
 【公開日】平成 21 年 12 月 17 日 (2009.12.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-050
 【出願番号】特願 2008-146069 (P2008-146069)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 5/02 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 5/02 P

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、

前記長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、

前記長周期振動時管制運転とその他の運転とを切替える切替スイッチとを備え、

前記切替スイッチは、スプリングバックである投入位置とスプリングバックでない複数の投入位置とを有し、

前記スプリングバックでない複数の投入位置のうちの 1 つは、前記長周期振動時管制運転が実施される投入位置であり、

前記スプリングバックでない複数の投入位置のうちの他の 1 つは、前記長周期振動時管制運転が解除される投入位置であり、

前記スプリングバックである投入位置は、前記その他の運転が実施される投入位置である

ことを特徴とするエレベータの制御装置。

【請求項 2】

長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、

前記長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、

前記長周期振動時管制運転とその他の運転とを切替える切替スイッチとを備え、

前記切替スイッチは、スプリングバックである投入位置と前記スプリングバックである投入位置からの戻り位置とを有し、

前記スプリングバックである投入位置からの戻り位置は、前記長周期振動時管制運転が解除される投入位置であり、

前記スプリングバックである投入位置は、前記その他の運転が実施される投入位置である

ことを特徴とするエレベータの制御装置。

【請求項 3】

長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、

前記長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、

前記長周期振動時管制運転を解除するための切替スイッチと、
を備え、

前記切替スイッチの投入位置のうち、前記長周期振動時管制運転が解除される投入位置は、スプリングバックではないことを特徴とするエレベータの制御装置。

【請求項 4】

長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、

前記長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、

前記長周期振動時管制運転を含む複数の運転のうち、実施する運転を投入位置により示す切替スイッチと
を備え、

前記投入位置には、スプリングバックでない投入位置が含まれており、

前記スプリングバックでない投入位置には、前記長周期振動時管制運転でない運転を実施する投入位置が含まれる

ことを特徴とするエレベータの制御装置。

【請求項 5】

長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、

前記長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、

前記長周期振動時管制運転を含む複数の運転のうち、実施する運転を投入位置により示す切替スイッチと
を備え、

前記投入位置のうち、前記長周期振動時管制運転でない運転が実施されることで前記長周期振動時管制運転が解除される投入位置を、スプリングバックとしなかったことを特徴とするエレベータの制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この発明に係るエレベータの制御装置は、長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、長周期振動時管制運転とその他の運転とを切替える切替スイッチとを備え、切替スイッチは、スプリングバックである投入位置とスプリングバックでない複数の投入位置とを有し、スプリングバックでない複数の投入位置のうちの1つは、長周期振動時管制運転が実施される投入位置であり、スプリングバックでない複数の投入位置のうちの他の1つは、長周期振動時管制運転が解除される投入位置であり、スプリングバックである投入位置は、その他の運転が実施される投入位置であるものである。

また、この発明に係るエレベータの制御装置は、長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、長周期振動検知装置の検知結果に

基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、長周期振動時管制運転とその他の運転とを切替える切替スイッチとを備え、切替スイッチは、スプリングバックである投入位置とスプリングバックである投入位置からの戻り位置とを有し、スプリングバックである投入位置からの戻り位置は、長周期振動時管制運転が解除される投入位置であり、スプリングバックである投入位置は、その他の運転が実施される投入位置であるものである。

また、この発明に係るエレベータの制御装置は、長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、長周期振動時管制運転を解除するための切替スイッチと、を備え、切替スイッチの投入位置のうち、長周期振動時管制運転が解除される投入位置は、スプリングバックではないものである。

また、この発明に係るエレベータの制御装置は、長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、長周期振動時管制運転を含む複数の運転のうち、実施する運転を投入位置により示す切替スイッチとを備え、投入位置には、スプリングバックでない投入位置が含まれており、スプリングバックでない投入位置には、長周期振動時管制運転でない運転を実施する投入位置が含まれるものである。

また、この発明に係るエレベータの制御装置は、長周期地震動や強風によって建物に発生する長周期振動を検知可能な長周期振動検知装置と、長周期振動検知装置の検知結果に基づいて、長周期振動時管制運転を制御する管制運転制御手段と、長周期振動時管制運転を含む複数の運転のうち、実施する運転を投入位置により示す切替スイッチとを備え、投入位置のうち、長周期振動時管制運転でない運転が実施されることで長周期振動時管制運転が解除される投入位置を、スプリングバックとしなかったものである。